

## 令和2年第9回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年9月23日(水) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 14時55分
- 3 開催場所 加西市役所 1F多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠  
委 員 沼 澤 郁 美  
委 員 楠 田 初 美  
委 員 中 川 和 之  
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
次長兼教育総務課長	今 西 利 夫
教育委員会次長(文化財担当)	森 幸 三
教育委員会課長(施設担当)	井 上 英 文
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	松 本 富 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
図書館長	藤 川 貴 博
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事務局の出席者を減らしての会議とする。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

6 付議事項

なし

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

## 8 質問及び討議の内容

なし

## 9 議決事項

なし

## 10 報告事項

### 教育長

前回の定例教育委員会以降の業務について報告する。

8月25日（火）定例校長会

オンライン開催 GIGA スクールフォーラム

9月1日（火）市議会本会議（第1日目）

9月9日（水）市議会本会議（第2日目）

9月10日（木）市議会本会議（第3日目）

9月12日（土）中学校体育祭

9月14日（月）予算決算常任委員会総務分科会

9月17日（木）文化庁文化財調査官面談

代表区長会

9月19日（土）小学校運動会

定例校長会では、着任2カ月での私の考えている加西市の教育のオリジナリティーについてお話しさせていただいた。まず、1つ目は給食を軸とした食育を進めたいと思っていること。これは農業王国加西の教育の特色の1つになるのではなかろうかということをお話した。2つ目は多文化共生を視野に入れて、真のグローバル教育を目指したいということをお話しさせていただいた。

また、市議会本会議1日目の場で、「教育長が考える加西市の教育について」という質問があり、これも校長会と同じ方向性で、オリジナリティーというところでは、給食を軸にした食育を進めることと、多文化共生のグローバルな教育をという2つの柱についてお答えした。また、「少子化に伴って今後の学校のあり方はどうするのか」「加西における新しい伝統文化の定着はどうするのか」という質問もあり、それに対しても現時点での私の考えるところを述べさせていただいた。これについては、後ほど議会の議事録でご確認いただければ幸いである。予算決算常任委員会総務分科会でも、給食を軸とした食育を農業と協働して進めたいという話をしていたので、それについてのご質問もあり、私の考えるところをきちんとオープンに誠実に答えさせてい

ただいた。

12日の中学校体育祭と19日の小学校運動会には教育委員の皆さんにもご参加をいただき、現地でお会いした方もあり、ありがたく思っている。

今年はコロナ禍で、全日開催ではなく午前中のみ開催となり、各校が競技内容等を取捨選択せざるを得なかった。それは残念なことではあるが、逆の意味で言えば、自分たちでプログラムを考える機会となり、何がなぜ必要なのか、また子供たち自身にも、例えばこれはどうしてもやりたい、それはなぜかという問いかけが各校であったように思う。

特に中学校は校長先生のお考えが競技の取捨選択にもにじんでいるような気がして、私は、それはそれで逆にプラス面だと思った。

つい2、3日前には小学校の運動会があり、私が行ったところは大体小規模校が多かったので、もっと大きいところも見たかったなと思ったが、大変かわいらしくて、本当にウォームハートというか、温かい感じで、一瞬涙が出るようなそういう場面もあったぐらいよかった。

ただ、この学年には男子しかいないとか、この学年は指折りの数人しかいないなど、各校に少子化がありありと出ていた。一方、そうは言うけれど、みんなが一生懸命やっているこの学校そのものが、万一ここになくなったらどうなるのかとか、危機感等色々なことを感じる運動会だった。

これからまた、教育委員の皆様方ともそういうお話をしていかなければならないと思っているが、とりあえずそういう印象を受けて帰って来た。

17日には、文化庁の文化財調査官の方がいらっしゃった。これが何と女性であり、教育委員さんはお2人が女性で半々だが、なかなか責任ある場に女性がいないので、私はよいことだと感じた。はきはきとされた方で、森次長の案内で加西市の文化財をいろいろ全部見ていただいたようである。

そのほか、公立こども園も5園全てを回らせていただいた。

実はどの園も給食が大変すばらしくてちょっと感動的だった。それにはいろいろ理由があり、お子さんが小さいからお母さんたちの興味や関心が高く、給食がおいしくないとその園に来てくれないといったこともあるようだ。また、各園で作っているので、千人単位で作るよりも、顔の見えるその子の給食を作っているのも、そういう意味ではやはりきめ細かいだろうと思う。こども園の給食であれば毎日でも食べたいと思って帰って来た。食育にもそういう考え方を生かしてみたいと思った。

実はこども園にもラオスとかブラジルの子供たちがいて、その子供たちのアイデンティティをどのように加西市が守ってあげるのか、その視点をきちんと大切にしながら、これからどういうふうやっていくのかがかなり大事なことだと感じた。多文化共生社会を本当に実感した。

## 学校教育課長

新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について報告する。

加西市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定により、9月19日から市の公共施設の利用や市主催イベントの制限緩和、解除がされている。これを受け、学校においても状況や活動内容を見定め、段階的に通常の学習活動ができるように戻しているところである。ご存じのとおり、9月19日の小学校の運動会は、従来の配慮のもとで実施されたところである。

かねてから教育委員の皆さんには消毒の負担を心配いただいていたが、使用箇所の消毒についても少しずつ対応場所を減らすなどして、教職員や子供たちの負担を減らす方向で進めていこうと考えている。

次に9月以降の教育活動について報告する。まず、先ほど教育長からもあったが、教育委員の皆様には12日の中学校体育祭、19日の小学校運動会へ激励に行っていた感謝している。久しぶりに学校で活動する子供たちの様子はいかがだっただろうか。小中学校とも午前中開催とし、教育長も申したとおりプログラムの見直しをするなど学校でも取捨選択をしながら、良い機会になったのではないかという思いを校長からも聞いている。

観覧いただく保護者への協力依頼や各校の規模や実情に合わせた対応により、春から運動会をどう開催するかについて何度も校長会で議論をしてきた。他市町が先行し中止を発表する中で、加西はやはりやりたいという方向で、ぎりぎりまで中止は口にせず開催できたということで、本当によかったと感じている。今後、保護者等の意見も聞きながら、真摯に来年度の取り組みにつなげてまいりたい。

あわせて、先日の解除以来、今後も修学旅行を初めとした学校行事、学習活動があるが、その学年でしかできない学びを大切に、基本実施していく方針に変わりはない。教育委員の皆様にもご理解とご協力をお願いしたい。

先ほども触れた修学旅行については、小学校は、年度当初の予定どおり10月27日、28日に奈良京都方面へ行く予定で変更はない。中学校は、従来は小学校同様に合同で行っていたが、本年度5月に計画していた東京方面の実施を長崎方面へと行き先を変更したことにより、11月2日に北条中学校、13日に泉中学校、19日に善防中学校、20日に加西中学校とし、それぞれ11月中に2泊3日の修学旅行を実施する予定で進めている。加西特別支援学校は既に9月9日から2泊3日で、こちらも東京方面から伊勢志摩方面へ場所を変更して、無事、修学旅行を済ませている。

また、先月定例教育委員会や9月議会でもご質問があった修学旅行のキャンセル料については、市長の方針もあり、万が一キャンセルの場合には保護者負担を軽減できるよう公費で賄って負担軽減をするように検討を進める旨の指示を受けている。ただ、負担率やどの段階でキャンセルにするかの決定により、その状況が変わるので、今後の状況を見きわめて決定していきたい。

次に、小学校5年生の自然学校については、例年4泊5日で実施していたが、今年は泊つきのものは1泊2日にし、学校やオークタウン加西を会場とし、体験学習を実施する。宿泊学習以外にも、あと3日間で学校内外での自然体験活動や非日常的な活動を実施する予定。具体的には、体験活動そのものには、オークタウン加西での野外炊飯やキャンプファイヤーはもちろんのこと、今年に限って鶉野飛行場跡での平和学習、気球体験学習、防災学習など、加西市の観光資源や地元人材の協力をいただく活動の計画を各学校で実施し始めているところである。

中学2年生のトライやる・ウィークは、各校とも1日ずつ2日間実施する予定。テーマを「地域に学ぶトライやる・ウィーク」と従来からあるこの目当てを思い出し、地元加西のよさの再発見や地元の人たちとの交流活動を計画している。具体的には、こちらも鶉野飛行場跡地での平和学習を計画している学校や地元での清掃活動、ボランティア活動など、その学校の実情や工夫により、あるいはこれまでの実績を踏まえて計画してもらっている。そのほか校内合唱祭、学習発表会、音楽会、マラソン大会なども、各学校での配慮と工夫によって実施する方向で計画を練っている。

最後に、教育委員の皆様にご心配いただいている子供たちの学習の進み具合については、夏休みを授業日としたり、学校行事を精選したりすることにより、9月1日の2学期始業式段階では、概ね年間で国の定める履修内容をおさえる見通しがついている。

現時点で、小学校低学年などは1単元を残している状況もあると報告を聞いている。これはもともと年間授業時数に余裕がある低学年であり、慌てずじっくりと学習習慣、生活習慣の定着を図ることを狙いとしているので、そういう意図を持って単位を残しているというような状況である。

#### 教育委員からの質問および学校教育課長からの回答

・非常事態等いろいろあり大変だったが、運動会ができたのは本当によかった。ありがたく思っている。小中の子供たちの様子を久しぶりに見られて感動した。

心配していた修学旅行と自然学校は実施ということで、今からは大丈夫だとは思いますが、まだわからないので、ぎりぎりまで検討し、万が一、中止しなくてはいけなくなった場合、キャンセル料は市が負担してくれるのか。

(回答) 3週間前、21日前からキャンセル料がかかるので、一旦その3週間前あたりを小中学校ともに判断の基準にしたいとは考えている。それ以降はキャンセルする日数によって、ご存じのとおりキャンセル料のかかり具合が変わってくるので、とにかく実施する方向では考えながら、極端なことを言えば、当日キャンセルということまで、できればねばりたいという意見を校長会等で聞いている。

他市町の状況もあるが、この日程を例えば3学期に回すのか、日帰りや1泊2日

にするのかといった縮小も含めて今検討しているところである。何とか実施したいというのが本音である。

キャンセル料は議会答弁でもあったように、公費で保護者の負担を減らすということで考えている。もちろん全額となるとかなりの金額になるが、市長部局の財政部局とも相談しながら、あるいは市長のご意向も確認しながら、どのような形で支援ができるか考えていきたい。

#### 教育委員からの意見

・お礼だけ言わせていただきたい。

小学校の運動会に参加させていただいた。うちの子も小学校6年生で最後の運動会だった。午前中だけの開催ということでちょっと心配したが、小学校1年生から6年生までしっかりとまとまっていた。小学校6年生がソーラン節を踊っているのを見て、下級生と一緒に踊っているのにすごく感動し、とてもよかったと思う。

保護者の中には午前中はいやという意見も多々あったと思うが、最後の小学校の運動会で、今年の卒業式と同様にすごく感謝している。本当に感謝を申し上げたい。

・私も同じだが、とにかく種目を絞る中で、でも子供たちの意欲があらわれるような工夫があり、それぞれの学校によって違うなと感じた。九会小と富合小へ行かせてもらった。九会は前半だったので競争種目が多くて、その後を見たかったなと思った。逆に富合へ行ったときは工夫を凝らしたゲーム的なものを子供たちが生き生きとしていて、校長先生もよかったと言われていた。

12日に加西中へ行ったが、隣に地域代表の方で元小学校の先生がいらして、「先生が走り回っている小学校とは違って、グラウンドに先生の姿が見えない。中学生になると子供たちだけでこれだけやれるんですね。」と感心されていた。

今年は特に夏休みがない中、リーダー研修とかもできていないが、それでも生徒たちが自主的に活動できて、先生が手を入れなくてもできる、そういう体育祭を作り上げてくれていたのが、とてもよかったと私も思った。

それともう1つは、部活パレードである。本当に短い時間で着替えができていた。10分後に集合と言われたら、きちんと着替えて集まっていた。今までは昼休みが明けたところで部活行進をするパターンだったので、もっと時間がかかるだろうと思っていたが、午前中の短い着替え時間にきちんとできている子供たちの姿にも感動した。

本当に小学校と中学校で色は違うが、その間に子供たちがしっかりと成長していると感じられた運動会であり、体育祭だったので、とてもよかった。感謝を伝えたい。

・私も皆さんと同じ意見だが、運動会に参加した感想を述べたい。

まず、半日だったが、プログラムをしっかりと見直しされて、その学校その学校によって合ったプログラムにされていた。

観客席については、小さい学校は保護者のテントを張っていたが、大きな学校ではテントは張らず、できるだけソーシャルディスタンスを守る形を作られていた。

競技においても、例えば綱引きで1人ずつが持つ位置の間隔をあけるように、ほぼ1m弱ぐらいの幅でテープが貼ってあって、できるだけ密にならないように配慮したり、1本の綱では一斉に集中するので、何本も短い綱を出しながらされていた。

棒の競技においても、本来の棒を少し長くして、できるだけ生徒が密着しないようにというふうに、いろんな意味で間隔、競技の上で工夫をされていたと思う。

本当に楽しませていただいて、ありがたく思っている。

・自然学校やトライやるについては、ふだん子供たちができない非日常的な体験ということで、防災学習、加西市の特色である気球体験あるいは旧鶉野飛行場跡での平和学習というものを入れられていると聞いた。

加西は案外災害が少ないところかもしれないが、防災についてはハザードマップの見直しも今進んでいる。いざというときにどうするのか、人の命、自分の命を守るというのは一番基本的なことである。

それから、加西市の特色を子供たちが知るのとはとてもいい機会なので、コロナで本当に大変だが、それをきっかけに上手に計画されていることは、大変敬意を表するところである。子供たちがふだんできない体験を十分に楽しんでもらえるよう、よろしくお願ひしたい。

#### こども未来課長

令和3年度認定こども園入所申し込みについて報告する。

加西市では、来年4月に認定こども園が11カ所となる。認定こども園は幼稚園と保育所の両方の機能を持つ施設である。

入所については、まず1号、2号、3号それぞれの認定を受けて、希望の園に入所することになっている。1号認定は教育利用ということで、3歳以上で保育を必要としない方、今までで言う幼稚園に当たる。2号認定は同じく3歳以上で保育利用の方。3号認定は3歳未満の保育利用の方ということで、それぞれ認定の申請をしていただく。

申込期間は10月9日～10月末。施設の一覧には公立5園、私立6園があり、最後の欄の北条こども園が、来年4月に認定こども園としてオープンする予定。

例年は市役所施設の中の1カ所で合同説明会を開催していたが、今回はコロナ対策

ということもあり、合同説明会は行わず、個別の集中受付窓口を設けて、9月9日、10日のそれぞれの時間に開催した。9日は43件、10日は10件の親子の参加があった。

なお、申し込みは10月9日からだが、この9月9日以降、用紙の配布を行い、こども未来課の窓口でも随時個別の相談等をしている状況である。

#### 生涯学習課長

公民館まつりについて報告をする。

毎年10月、11月にかけて各公民館が主催講座と登録グループの学習発表会として開催していた。

しかし、今年はコロナがあり、3月から6月までの4カ月間は全く活動ができず、発表するまでに至っていないこと、また発表会を開催するには6月から準備を開始しないと間に合わないこともあり、6月の時点で話し合いをし、その場で今年度の公民館まつりは中止と決定した。

ただ、その後、何らかの方法で発表の機会を設けられないかと話したところ、展示に関してはそれぞれの各公民館で展示をし、コーラス等の前で発表するものについては、一部の公民館でかしの木学園の講座の前に発表できる場所は発表することになった。今までとは異なり、形を変えて縮小して行うことになり、これまでの1000人規模に来ていただくような公民館まつりは中止とする。

また、例年1月に善防公民館で正月遊びを開催していた。いつも開催にご協力いただいていた下里地区と賀茂地区の社会教育委員さんに、2週間前にお集まりいただき、善防公民館で開催するかどうかについて話したところ、今年はインフルエンザもあるし、幼稚園などの小さい子と高齢の方がいらっしゃるということで、開催しない方向でお願いしたいとお聞きし、中止にした旨をご報告させていただく。

#### 図書館長

図書館の空調改修工事について報告をする。

加西市立図書館では老朽化した空調設備の改修のための工事を10月1日～11月30日の2カ月をかけて行う。

基本的にはその間も図書館の運営を行うが、それぞれの工事のスケジュールにより利用制限を伴う開館となる。

空調改修工事のスケジュールとしては、10月に一般図書を置いている4階部分を、11月はキッズコーナーや雑誌を置いている3階部分を工事することになる。その間それぞれのフロアは立ち入ることができない。

10月の4階工事中は、3階部分のみ、キッズコーナー、新聞雑誌、AVコーナーなどの利用に限らせていただく。一部新着図書等は3階におろしてきて、貸し出ししたいと考えている。

11 月は3階を工事するので、入口がある3階から4階に上がる通路だけを確保し、そのほかは入れないようにして、4階部分のみ利用できるようにする。4階にある図書資料として、一般図書、新着図書のみを貸し出しする。新聞は当日分のみ上に持って上がって、閲覧できるようにしたい。

その他、予約やリクエストについても若干制限がかかる。

工事による利用制限に伴い、期間内の本、雑誌の貸出日数、冊数を既に変更しており、9月16日～10月30日までの間は、通常2週間の貸出期間を4週間に、貸出冊数を20冊から50冊までとして貸出変更を行っている。

#### 教育委員からの質問および図書館長からの回答

・空調の改修工事の関係で貸し出しの冊数と貸し出しの日数も変更していただいている。ありがたく思っている。

私も先日10冊借りたが、本を10冊持つのは結構重かった。これが50冊まで借りられるのは嬉しいことだが、例えば車まで運ぶに当たって、台車の貸し出しがあるとか、お手伝いして下さるとか、何かあるのか。

(回答) 館内にカートがあるので、カートを使って持って行っていただくようお願いしている。アステリアかさいの駐車場内なら、外までカートで持ち出していただいている結構である。

教育委員からは以下の意見があった。

・リサイクル図書のコーナーは本当に楽しい。入ってすぐのところは何項目か台があり、本がいっぱい並べてあって、ご自由にどうぞと書いてある。この前、私も恐竜の図鑑を1冊いただいて帰って来た。あそこで、色々な本を見るだけでも楽しい。こういう形でコーナーを設けていただいているのは、本当にありがたいと思う。

#### 1.1 協議事項

なし

#### 1.2 教育委員の提案

なし

#### 1.3 今後の予定について

- ・第10回定例教育委員会 10月22日(木) 14:00～1F多目的ホール  
定例委員会終了後、引き続き総合教育会議を開催予定。
- ・第11回定例教育委員会 11月20日(金) 14:00～1F多目的ホール

## 1.4 その他

### 教育委員からの質問および回答

#### 【GIGA スクール構想関連について】

・9月いっぱいまでGIGAスクールに向けてのパソコン1人1台体制ができること、またオンライン授業に向けて教職員研修が進んでいることを聞いた。

実際、オンライン授業に向けての今の進捗状況とこれからの計画はどうなっているのか。オンライン授業を進めていくと聞いているが、実際どのような目的でオンライン授業をやっていくのか分からないところがある。どのような授業、どういう光景になるのか。それを踏まえたシミュレーションというようなものは、どこまでされるのかを教えていただきたい。

#### (総合教育センター所長の回答：研修について)

まず、センターとして職員の研修については、クロームブック導入に当たり、9月上旬に小学校教職員を対象に、また9月下旬には、中学校教職員を対象にクロームブックの操作研修を行った。また、いろいろ管理的な部分があるので、クロームブックの管理面について管理研修を9月28日に予定している。

それと同時進行になるが、イメージとしてはパワーポイントのような、授業の中で子供たちが自分たちの意見を発表できるロイロノートというものがあり、その研修も行う予定である。

今後、加西市の学力向上プロジェクトの関係で環太平洋大学の長谷先生より、これもオンラインになるが、授業中の活用という面でいろいろ示唆をいただきながら進めていく予定である。

10月1日からは、梱包を解いて子供たちに配布する予定である。

それと並行して、インターネット等は全世界につながるもので、そういったところの使用方法については、プラスの影響等では大切ですがごくいいところもあるが、マイナスの影響等のことも鑑みながら、運用をどうしていくのかを、今、ガイドライン策定中である。

#### (学校教育課長の回答：授業イメージについて)

オンライン学習という言葉がややひとり歩きをしている感はある。GIGAスクール構想の中で、本来、文部科学省が言っているのは、主体的、対話的で深い学びの実現を目指して、グループディスカッション等の精度をより上げていくことである。

本市ではクロームブックを導入したが、1人1端末を用意して、自分の考えを瞬時にみんなにわかるよう、発表すれば済むのではという意見もあるが、画面上に成

果物を見せたり、あるいは意見を書いたり、それを集約したりということで、ICTを使いつつ、瞬時にそうした他者の考えを見て協議をし、共同的にともに学ぶというようにグループ学習の精度を上げていこうというのが狙いである。

今回コロナ禍により、家庭と学校を結ぶ手段の1つとして GIGA スクールがクローズアップされたが、加西の中では、所長が申したように教職員の操作研修を踏まえ、学校の中を社会の一部と捉えて、その閉じた社会、教室あるいは他学年、異学年の中でもあるかもしれないが、クロームブックの操作あるいは活用した学習というのは、まずは学校の中で十分にリテラシーを含めて深めていこうというのが狙いである。

その中で、教室内でいろいろな操作方法を子供たちへもサポートしてもらいながら、操作できるとなったとき、将来的にはクロームブックを学習の道具の1つとして考えたいというのが国の狙いであるので、ランドセルに入れて持って帰るというような光景が具体的に見えてくるのではないかと考えている。

そうすると、教科書も今後は完全にデジタル化して、その中に入っているというようなことも、見通しとして出てくるのかもしれないと考えている。

10月1日から、すぐに家庭と学校を結びながら、例えば宿題や課題を家の子供たちに投げて返してもらおうというようなことは、今は想定していないので、その意味でご心配な部分があればご安心いただきたい。

ただ、そうは言いながら、段階的に家庭とのやりとりもできるようにしていき、Google の G スイート for education とを使った双方向のやりとりができるツールも入れているので、そのあたりは子供たちにとってより使いやすいように工夫していきたいと考えている。

・クラスルームは5月でとまってしまったのか。それは一緒にやっていくのか。

(学校教育課長の回答) 学校の中でクラスルームを使いながら、意見の集約をしたり、たまに課題を集めたりもしていたが、これは次には学校での方針や担任の工夫になってくる。

その辺の事例については、兵庫県が進めていく中でリーダー養成の教員を募集しており、加西からも1人県に行くことになっている。その先生をリーダーにしながら、事例を集めていく組織をつくれたらと、総合教育センター、教育総務課、情報政策課、学校教育課の4課がまたがってそういった1つのプロジェクトを立ち上げていきたいと考えている。

・そうすると、先生が大変だ。加西でそういう専門の先生が要るのではないか。

(学校教育課長の回答) 支援員が必要であることは、かねてから言われているが、どこの市町でもそういう方々の人材が不足している。市教委同士でやりとりをして

いると、一般の先生方の臨時職員も本当にいないが、そういった支援をする専門家は不足している。

教員の中から養成して、どんどん裾野を広げていこうというのも狙いだが、物理的にそういった人の手を借りたいところがある。仕組み的にも情報 ICT の補助員がどのような形でできるか意見もいただいているので、予算化に向けて考えていきたい。

・最初は操作性でどうやって授業をしていくかの方向性を定めていかないといけないということだが、そこはなかなか難しい現状があるのではないか。

(学校教育課長の回答) 同時に、授業のイメージは先生方のほうでもう膨らんできていて、こういうことに使えとか、算数のここであればこれは使えるということが、先ほど所長の申した教職員研修の中でも具体的に先生方はもう意見を出している。

何かこういうものがあるからというのをトップダウンで落とすのではなく、操作を学ぶと、次は先生方みずから考えてやり始めてくれているので、早く梱包を解いて子供たちに渡す段階が来ればいいと思う。

ただ、ちょっといろいろなハード面の設備的なもの、充電の装置であるとか、そういったことが一気に進んでいないので、徐々に行っていきたい。

#### 【こども園について】

・先日、泉よつばこども園へ訪問に行った。コロナ禍でこども園訪問もなくなってしまったが、地元の園なのでのぞきたいと思い行った。

すばらしいこども園で本当に感激した。集中豪雨で運動場が少し低くなってしまったが、土を早めに入れていただいて、ありがたく思った。

停電が長く続いたそうだが、昼日中だったらどうなっていたかと園長先生も言っていた。太陽光パネルはついていないのか。小学校にはついているのに、どうして設置しなかったのか。

(こども未来課長の回答) 太陽光パネルは設置していない。まず、小中学校は太陽光パネルをつけることでの補助金があるが、こども園にはそういう補助メニューがない。そういった財源的なところで見送った次第である。

・関西電力の関係もこども園はつけられないと聞いた。もしパネルがあれば、蓄電池で電気がつけられたのではないかと思ったが、今後のお考えはあるのか。

(こども未来課長の回答) 確かに停電がお迎えの時間だったので、まだよかったが、あれが昼間の時間、例えば夏場の暑い時期や冬場の寒い時期で長時間になるとかなり大変だったと思う。

いろいろな災害も含めてだと思うが、対応については、停電で避難するとしても、そのあたり全部停電だとどうしようもない。

もちろんすぐ復旧するのが大事ではあるが、長引く場合の対応の仕方は、防災についてのマニュアル等も参考にして、これから検討したい。

後づけの設備はなかなか難しいみたいなので、ソフト面で何とか対応を図っていききたいと考えている。

- ・復旧が一番最終だったそうだが、もっと先にしていただけなかったのか。

(こども未来課長の回答) 実は関電が1本1本電柱を直す中で、泉よつばこども園の引き込みをした電柱が一番最終になった。

なぜ最終になったかと言うと、関電が設備を全部は熟知されておらず、その電柱だけ大きな設備で、手持ちの道具では対応できないので、一旦帰って、設備のあるチームで来ると言われた。その往復で1時間半ないし2時間ぐらいかかったので、周辺は全部電気がついているのに、こども園だけつかないという時間がしばらく続いた。

次回からはもう少し早く復旧されると思う。

- ・コロナ禍でどこの園でも、遠足や高学年の園児と小学校との交流ができていないので、させてあげたいと園長が言っていた。そのところはどうなっているのか。

(こども未来課長の回答) まず、遠足については、秋の遠足は今現在見送りしているが、2月、3月にお別れ遠足の予定があり、その時期に状況も把握しながら、なかなかバスに乗る機会もなかったなので、何とかバスに乗れるように考えていきたい。

交流事業については、ご指摘のとおり1学期、2学期の交流ができていない。これも小学校の先生方とも相談しながら、できるところから進めていきたいと考えている。ご協力いただけるよう頑張っていきたい。

教育長からは、運動会でも、前はこども園と一緒にだったという声をあちらこちらで聞いたので、もう少し交流を考えないといけないだろうとの意見があった。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和2年9月23日

出席者

(出席者署名)